

消 防 年 報

平成 2 5 年版



中津市消防本部

はじめに

この消防年報は、中津市消防本部の現勢と平成 25 年中の消防に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政運営上の参考資料に資するために編さんしたものです。

尚、統計については原則として暦年、予算関係については会計年度とし、表中に年月を明示したものについては、その時点での現況としています。

平成 26 年 4 月

中津市消防本部

目 次

1	地勢及び情勢	
	・ 管内の概況	1
	・ 消防機関の所在地	2
	・ 中津市内各地域の人口、世帯数、面積	3
	・ 地域の年齢区分別人口表	3
	・ 年齢区分別割合	4
	・ 庁舎の現況	5
	・ 沿革	6
2	総務	
	・ 組織・構成	9
	・ 事務分掌	10
	・ 職員年齢構成表	14
	・ 職員の勤続年数	14
	・ 職員の配置状況	15
	・ 予算関係	16
	・ 職員の各種資格免許取得状況	17
3	予防	
	・ 管内地域別防火対象物の現況	18
	・ 消防用設備等点検結果報告書の届出が必要な対象物	19
	・ 消防同意件数（計画変更含む）	20
	・ 中高層建築物	21
	・ 防火管理者選任を要する対象物	22
	・ 各種届出事務処理状況	23
	・ 住宅用火災警報器設置率の推移	24
4	危険物	
	・ 危険物製造所等の施設数	25
	・ 危険物事務処理状況（許可又は検査の数）	26
	・ 火煙類消費許可申請事務処理状況	27
5	消防団	
	・ 中津市消防団の組織	28
	・ 方面団別消防団員実員状況	29
	・ 方面団別及び年齢別消防団員数	29
	・ 消防車両の配置状況	30
	・ 消防団の通信機器配備状況	31
	・ 主な装備品配置状況	31

6	通信指令室	
	・ 通信指令室概要	32
	・ 119番通報受付受信件数	33
	・ 緊急通報システムの受信状況等	34
7	火災・管理・調査	
	・ 火災概要	35
	・ 出動区分表	36
	・ 年次別火災統計	37
	・ 月別火災発生件数	38
	・ 地域別の火災発生状況及び被災状況	39
	・ 出火原因	40
	・ 時間帯別出火件数	41
	・ 曜日別出火件数	41
	・ 消防水利の現有状況	42
	・ 相互応援協定締結状況	43
8	救助・指導	
	・ 救助概要	44
	・ 月別救助出動件数	45
	・ 発生場所別救助活動の状況	45
	・ 消防機材等の現有状況	46
	・ 特殊災害(B・C)活動用資器材	48
	・ 車両の配置状況	49
	・ 消防用車両等一覧表	50
	・ 調査・指導等活動状況	51
9	救急	
	・ 救急概要	52
	・ 過去10ヵ年救急出動件数の推移状況	53
	・ 地域別救急出動件数	53
	・ 救急出動件数	54
	・ 救急搬送人員	54
	・ 月別・時間別出動件数状況	55
	・ 年齢別搬送人員状況	56
	・ 傷病程度別搬送人員状況	56
	・ 曜日別救急出動件数状況	57
	・ 医療機関別搬送人員状況	57
	・ 覚知別救急出場件数の状況	58
	・ 現場到着までの所要時間	59
	・ 医療機関収容までの所要時間	59
	・ 救急隊員の行った応急処置状況	60

地勢及び情勢

管内の概況

当地域は、大分県の西北端に位置し、地勢は阿蘇火山系の外側で起伏の多い耶馬溪等の溪谷地帯と、沖代平野の平坦部に大別される。

河川は、英彦山を起源にした一級河川山国川が地域西側を流れ、周防灘に注いでいる。

交通は、地域の北側平坦部を東西に貫通する J R 日豊本線、国道 10 号と溪谷部を南北に走る国道 212 号、又これを軸にした県・市道等の地方道が溪谷地帯や平坦地帯に数多く走っている。

気候は、瀬戸内海性気候に属し、比較的温暖であるが、溪谷・平坦地帯とも台風等の影響を受けやすく、特に溪谷部では土砂災害の危険度も大きい。

平成 25 年の年間平均気温は 16.3℃、年間降水量は 1,442 mm で、特に冬季から春季にかけては空気が乾燥し、季節風が強く、火災予防上危険度が高い。



消防機関の所在地










中津市消防本部・署



耶馬溪分署



凡 例

- 
消防本部
- 
本署
- 
耶馬溪分署
- 
管轄境界線
- 
主要幹線道路
- 
自動車専用道路(開通区間)
- 
自動車専用道路(未開通区間)

中津市内各地域の人口、世帯数、面積

(平成26年3月31日現在)

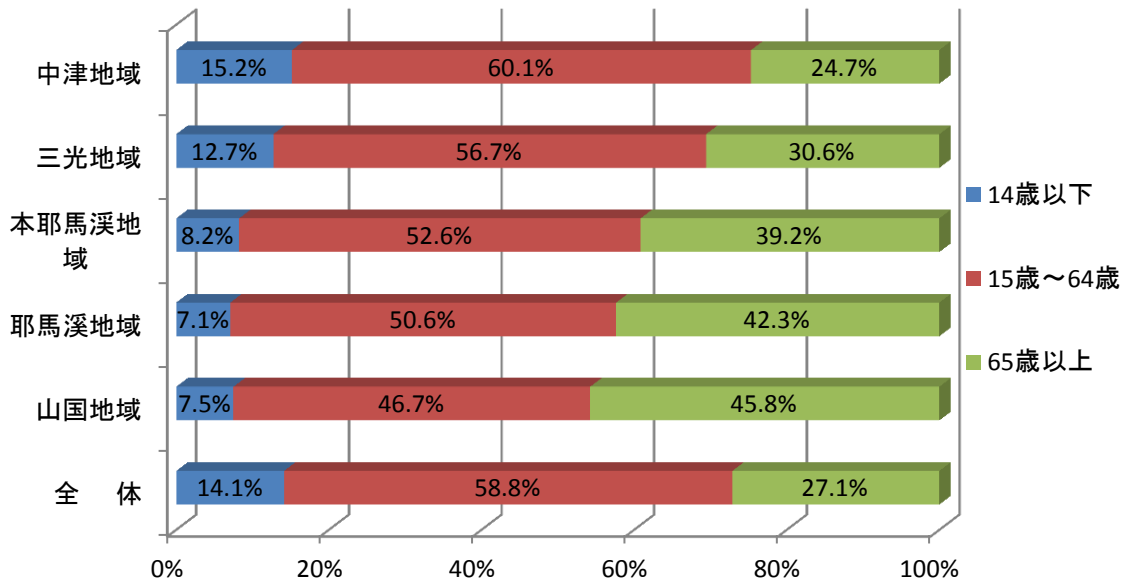
区分 地域	人 口			世帯数	面 積
	男	女	計		
中津地域	33,492	36,398	69,890 人	31,120 戸	56.14 km ²
三光地域	2,537	2,870	5,407 人	2,168 戸	46.02 km ²
本耶馬溪地域	1,500	1,656	3,156 人	1,378 戸	85.46 km ²
耶馬溪地域	1,979	2,324	4,303 人	1,818 戸	183.70 km ²
山国地域	1,240	1,411	2,651 人	1,115 戸	119.85 km ²
計	40,748人	44,659人	85,407 人	37,599 戸	491.17 km ²

地域の年齢区分別人口表

(平成26年4月1日現在)

地域 区分	中津地域	三光地域	本耶馬溪 地域	耶馬溪地域	山国地域	計
14歳以下	10,613	688	260	305	199	12,065人
(割合)	15.19%	12.72%	8.24%	7.09%	7.51%	14.13%
15歳～ 64歳	42,034	3,066	1,660	2,176	1,239	50,175人
(割合)	60.14%	56.70%	52.60%	50.57%	46.74%	58.75%
65歳以上	17,243	1,653	1,236	1,822	1,213	23,167人
(割合)	24.67%	30.57%	39.16%	42.34%	45.76%	27.13%
全人口	69,890人	5,407人	3,156人	4,303人	2,651人	85,407人
(割合)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

年齢区分別割合



中津市

人口

85,407人

世帯数

37,599戸

面積

491.17 km²



庁舎の現況

【中津市消防本部・署】



所在地	大分県中津市大字上宮永364番地	T E L	0979-22-0001 (代)
敷地面積	7,287.73㎡	職員数	86 名
床面積	1,942.94㎡	車両台数	16 台
建築年月	昭和51年7月		

【耶馬溪分署】



所在地	大分県中津市耶馬溪町大字大島2216番地 1	T E L	0979-54-2100
敷地面積	2,490.75㎡	職員数	25 名
床面積	567.12㎡	車両台数	5 台
建築年月	昭和50年3月		

沿 革

昭和12年	4月	中津市夜間常備消防部発足実動 (普通ポンプ車……1台 部員……11人)
昭和18年	4月	中津市常備消防部発足実動 (普通ポンプ車……1台 部員……18人)
昭和27年	4月	中津市消防本部・消防署発足 (普通ポンプ車……2台 職員……18人)
昭和43年	6月	救急業務実動開始
昭和44年	4月	隣接の豊前市・吉富町・新吉富町・大平村と応援協定を締結
昭和48年	7月	隣接の三光村と応援協定を締結
昭和49年	7月	中津市と下毛郡内3町1村との広域消防発足
昭和50年	4月	中津下毛広域消防本部・消防署 耶馬溪出張所全面実動(水槽付消防ポンプ自動車1台、普通ポンプ車1台 救急車1台、広報車1台、職員数20名)
昭和51年	3月	大分県常備消防相互応援協定締結
	7月	中津下毛広域消防本部・消防署新庁舎竣工
	8月	旧庁舎より新庁舎に移転実動開始
昭和52年	11月	本署スノーケル車配備
昭和55年	6月	本署指揮車更新
昭和56年	3月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地取得(5,527.73㎡)
	4月	中津下毛広域消防本部・耶馬溪出張所の敷地取得(999.87㎡)
昭和57年	2月	本署救急1号車日本損害保険協会より寄贈される
昭和58年	3月	出張所広報車更新
昭和59年	2月	本署消防1号車(水槽付消防ポンプ自動車)更新
	8月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地拡張分取得(938.00㎡)
	12月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地拡張分取得(307.00㎡)
昭和60年	11月	出張所消防1号車(水槽付消防ポンプ自動車)更新
	11月	火の用心号日本防火協会より寄贈される
昭和61年	8月	出張所救急車更新
昭和62年	3月	人員搬送車寄贈(国際ソロプチミスト中津) 消防緊急情報システム設置 訓練塔新設・竣工
昭和63年	2月	本署救助工作車配備
	2月	桧原山無線中継局開設
	3月	本署救急車日本損害保険協会より寄贈される
	12月	出張所消防2号車(ポンプ車)更新

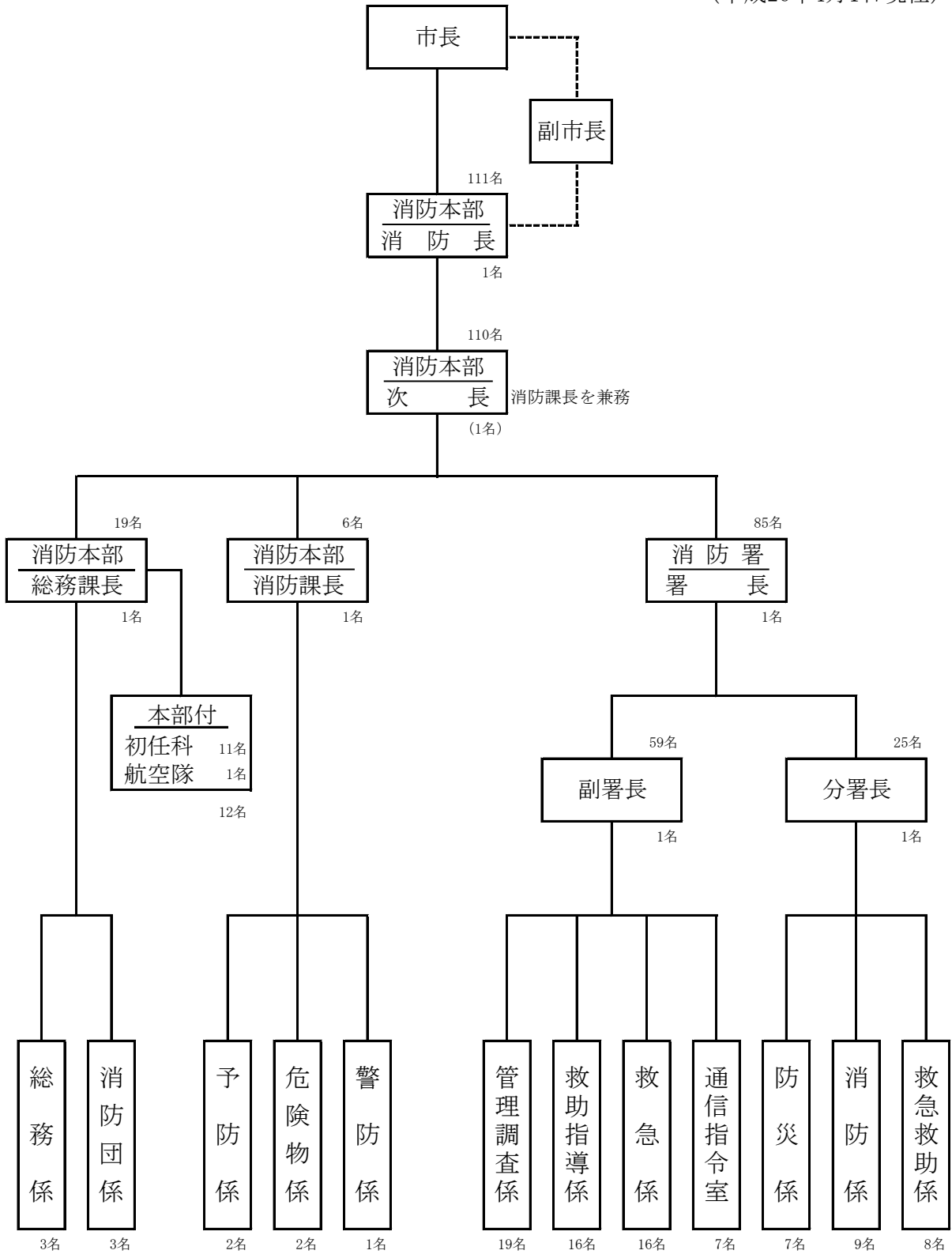
平成 元年	2月	本署化学車更新
	3月	本署車庫及び屋内訓練場増築
	5月	山国無線中継局開設
	12月	本署消防3号車（ポンプ車）更新
平成 2年	2月	救急車日本消防協会より寄贈される
平成 3年	3月	本署事務連絡車配備
	3月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地取得（515.00㎡）
	12月	本署消防2号車（ポンプ車）更新
平成 4年	4月	中津下毛広域消防本部・耶馬溪出張所の敷地取得（1,455.00㎡）
	8月	本部指揮車更新
	9月	出張所救急車更新
平成 6年	2月	本署梯子車配備（35m）
	2月	耶馬溪出張所車庫増築（264.07㎡）
	8月	出張所広報救急車更新
平成 7年	9月	本部・署機構改革 本部2係、署5係を置く 本署救急車更新
平成 8年	12月	本署消防1号車更新（水槽付消防ポンプ自動車）
平成 9年	3月	本部査察車更新、日本消防協会より寄贈される
平成10年	2月	本署高規格救急車配備
	4月	本署高規格救急車運用開始
平成11年	1月	本署通信指令室増築（175.16㎡）
平成12年	3月	本署新通信指令室運用開始
	11月	出張所消防2号車（ポンプ車）更新、日本損害保険協会より寄贈される
平成13年	1月	本部査察車更新
平成14年	1月	本署人員資器材搬送車配備
	4月	本部・本署・耶馬溪出張所機構改革 本部3係、本署5係、耶馬溪出張所を 分署と改称し、3係を置く
	11月	分署高規格救急車配備
平成16年	2月	分署消防1号車更新（水槽付消防ポンプ自動車）
	3月	本署救急車（2B）更新
平成17年	2月	広域市町村圏事務組合解散
	3月	中津市消防本部・消防署発足（市町村合併にともない一部事務体制の変更）
平成18年	3月	本署救助工作車Ⅱ型更新
平成20年	3月	本署高規格救急車更新
	4月	本部・本署機構改革 3課12係を置く
平成21年	8月	本署消防2号車（ポンプ車）更新
平成22年	2月	分署救急車更新（高規格救急車）
	3月	本署指揮車更新

平成23年	2月	本署化学車更新（災害対応特殊化学ポンプ自動車Ⅱ型）
平成24年	2月	本署消防3号車（ポンプ車）更新
平成25年	2月	資機材搬送車（国より無償貸与）
	3月	職員条例定数の改正（120名体制）
	3月	本署消防1号車更新（水槽付消防ポンプ自動車）
	3月	分署消防2号車更新（ポンプ車）
	5月	東部出張所の敷地取得（4,862㎡）
	9月	分署広報車更新
	10月	職員10名採用
	11月	本署救急2号車更新（高規格救急車）
平成26年	3月	消防救急デジタル無線運用開始

総務

組織・構成

(平成26年4月1日現在)



事務分掌

【本部・総務課】

総務係	<ol style="list-style-type: none">1 文書の收受、編さん保存及び公印の管守に関する事。2 規則等の制定及び改廃に関する事。3 消防吏員の階級、服務及び規律等人事に関する事。4 消防吏員の賞じゅつ金に関する事。5 常備消防予算の執行及び会計事務に関する事。6 消防職員の給与等に関する事。7 消防職員の衛生管理に関する事。8 消防吏員の給与品及び貸与品に関する事。9 出張等に関する事。10 消防庁舎及び備品の管理に関する事。11 消防表彰に関する事。12 消防職員委員会に関する事。13 消防の総合的企画及び調整に関する事。14 本部に属する公文書の公開並びに個人情報の開示、訂正及び利用停止等に関する事。15 他の主管に属さない事。
-----	--

消防団係	<ol style="list-style-type: none">1 非常備消防予算の執行及び会計事務に関する事。2 非常備消防施設及び装備に関する事。3 消防団員の任免及び懲罰に関する事。4 消防団員の福利厚生に関する事。5 消防団員の公務災害補償に関する事。6 消防団員の退職報償金に関する事。7 大分県消防協会中津支部に関する事。8 消防水利に関する事。9 その他消防団に関する事。
------	---

【本部・消防課】

予 防 係	<ol style="list-style-type: none"> 1 予防査察に関する事。 2 防火管理に関する事。 3 建築等の消防同意に関する事。 4 消防用設備等の指導及び検査に関する事。 5 防火対象物定期点検報告制度に関する事。 6 中津市火災予防条例に関する事（危険物及び警防に関するものを除く）。 7 その他火災予防に関する事。
-------------	--

危 険 物 係	<ol style="list-style-type: none"> 1 予防査察に関する事。 2 危険物の規制に関する事。 3 液化石油ガス等の届出に関する事。 4 少量危険物、指定可燃物に関する事。 5 中津市危険物安全協会に関する事。 6 中津市火災予防条例に関する事（危険物に関するものに限る）。 7 火薬類の消費等の許可に関する事。 8 ガス用品の適合表示に関する事。 9 その他危険物に関する事。
------------------	---

警 防 係	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防計画に関する事。 2 消防年報の編さんに関する事。 3 防火思想の普及、広報に関する事。 4 消防通信の企画に関する事。 5 中津市火災予防条例に関する事（警防に関するものに限る）。 6 相互応援に関する事。 7 開発行為の協議に関する事。 8 消防施設及び機械器具の整備に関する事。 9 その他警防に関する事。
-------------	--

【消防署（本署）】

<p style="text-align: center;">管 理 調 査 係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 消防署内事務の連絡調整に関する事。 4 消防署職員の勤務編成に関する事。 5 消防署の公印の管守に関する事。 6 警防調査に関する事。 7 火災原因及び損害の調査に関する事。 8 罹災証明に関する事。 9 消防施設及び機器の管理に関する事。 10 消防地理及び水利に関する事。 11 消防通信に関する事。 12 その他消防署の管理調査に関する事。
<p style="text-align: center;">救 助 指 導 係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 救助統計に関する事。 4 消防署職員の教養訓練に関する事。 5 非常備消防、自主防災組織等の育成指導等に関する事。 6 演習、消防訓練の指導及び防火教育に関する事。 7 救助及び潜水訓練の安全管理に関する事。 8 救命索発射銃の保安管理に関する事。 9 消防機器及び救助資器材の管理及び研究開発に関する事。 10 消防通信に関する事。 11 その他消防、救助資機材及び訓練指導に関する事。
<p style="text-align: center;">救 急 係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 救急統計に関する事。 4 救命講習に関する事。 5 救急搬送証明に関する事。 6 救急業務高度化推進計画及び運用に関する事。 7 救急資器材の管理及び研究開発に関する事。 8 消防通信に関する事。 9 その他救急に関する事。

通信 指令室	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 災害出動指令に関する事。 4 消防通信の運用及び管理に関する事。 5 災害時における関係機関への連絡に関する事。 6 非番員の招集に関する事。 7 気象特報水火災警報等に関する事。 8 気象観測に関する事。 9 その他消防通信に関する事。
-----------	--

【消防署（耶馬溪分署）】

防災 係	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 分署員の服務、規律及び教養に関する事。 4 分署員の勤務の編成に関する事。 5 各種届出の收受及び文書に関する事。 6 通信及び気象に関する事。 7 庁舎及び施設の管理に関する事。
消防 係	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 消防訓練の指導及び演習に関する事。 4 防火思想の普及及び広報に関する事。 5 非常備消防、自主防災組織等の育成指導に関する事。 6 消防地利及び水利に関する事。 7 火災原因及び損害の調査に関する事。 8 消防資器材の整備及び管理に関する事。 9 その他災害対策に関する事。
救急 救助 係	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 救急及び救助統計に関する事。 4 救急及び救助資器材の管理に関する事。 5 救命講習に関する事。 6 その他救急救助業務に関する事。

職員年齢構成表

(平成26年4月1日現在)

階級 年齢	消防 監	司令 長	司令 令	司令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	合 計	比 較 (%)
50歳以上	1	3	4	12				1	21	18.9%
45～50歳未満				3					3	2.7%
40～45歳未満				5	10			1	16	14.4%
35～40歳未満					13				13	11.7%
30～35歳未満					1	11	1		13	11.7%
25～30歳未満						13	6	1	20	18.0%
20～25歳未満							21		21	18.9%
18～20歳未満							4		4	3.6%
計	1	3	4	20	24	24	32	3	111	100%
全職員の平均年齢 33.1歳										

職員勤続年数

(平成26年4月1日現在)

階級 年数	消防 監	司令 長	司令 令	司令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	合 計	比 較 (%)
30年以上		2	4	10					16	14.4%
25～30年未満				7					7	6.3%
20～25年未満				2	15				17	15.3%
15～20年未満					7				7	6.3%
12～15年未満					2				2	1.8%
9～12年未満						2			2	1.8%
6～9年未満		1				15			16	14.4%
3～6年未満	1			1		7	4	1	14	12.6%
3年未満							28	2	30	27.0%
計	1	3	4	20	24	24	32	3	111	100%

職員の配置状況

(平成26年4月1日現在)

階級別 区分	消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	計
消 防 本 部	1	2	2	4	1	2	11	3	26
消防署 (本署)		1	1	9	17	13	19		60
消防署 (分署)			1	7	6	9	2		25
計	1	3	4	20	24	24	32	3	111

予算関係

平成26年度一般会計予算と消防費（当初予算（歳出））

（単位：千円）

一般会計予算との割合	一般会計予算	消防費	割合
	41,095,422	1,996,538	4.86%

消防費予算（当初予算（歳出））

（単位：千円）

款	項	平成25年度	平成26年度
消 防 費	常 備 消 防 費	865,479	1,746,369
	非 常 備 消 防 費	194,544	250,169
歳 出 合 計		1,060,023	1,996,538

消防費予算額と世帯、人口当たりの額（当初予算（歳出））

（世帯数、人口は各年度の4月1日現在の数）

費用 年度	予 算 額	世帯数 （戸）	1世帯あたり （円）	人 口 （人）	1人あたり （円）
平成25年度	1,060,023,000	37,437	28,315	85,522	12,395
平成26年度	1,996,538,000	37,599	53,101	85,407	23,377

職員の各種資格免許取得状況

(平成26年4月1日現在)

区		階 級		消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	計	
		実 数											
				1	3	4	20	24	24	32	3	111	
自動車関係	大型自動車			2	3	18	20	16	2			61	
	中型自動車	11t未満					1	1				2	
		8t限定	1	1	1	2	3	6	3	3		20	
	普通自動車								1	27			28
	自動二輪					3	8	8	16	3	2		40
救急	救急救命士					6	9	4	4			23	
	救急Ⅰ課程					1						1	
	救急Ⅱ課程			2	4	8							14
	救急標準課程					4	8						12
	救急科						8	13					21
	応急手当指導員			2	4	18	24	17					65
無線	特殊無線技師			2	4	19	24	24	21			94	
	アマチュア無線技師				1	5	2					8	
危険物	危険物取扱者免許甲種			1				1	1			3	
	危険物取扱者免許乙種			1	3	3	8	6	2			23	
	危険物取扱者免許丙種			1	2				1			4	
設備士	消防設備士甲種				1	1	1	1	1			5	
	消防設備士乙種			1	1	2	2					6	
救助	免許	潜水士		1	1	6	13	10	1			32	
		小型船舶操縦士				9	12	5				26	
	技能講習	玉掛け			1	10	13	12	2			38	
		小型移動クレーン			1	6	13	11	1			32	
	特別教育	チェーンソー			1	6	13	6					26
		巻き上げ			1	11	18	20	3				53
		酸素欠乏危険作業主任			1	14	10						25
	入校	救助科			1	12	14	4					31
		梯子科			1	13	10	3					27
専門員	消防用設備等専門員				2	2	1					5	
	防火査察専門員				3	3	2					8	
	危険物専門員				2	1	2					5	

予 防

管内地域別防火対象物の現況

(平成26年3月31日現在)

対 象 物 の 種 類		中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	合計	
1	イ	劇場・映画館等	4	1			5	
	ロ	公会堂・集会場	52	6	8	12	4	82
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場・ダンスホール	15	1			1	17
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	4					4
3	イ	待合・料理店	7			3		10
	ロ	飲食店	68	2	10	6	3	89
4		百貨店・マーケット	159	2	3	3	1	168
5	イ	旅館・ホテル、その他これらに類するもの	19	3	1	5	2	30
	ロ	寄宿舎・共同住宅	815	1	2			818
6	イ	病院・診療所	67	3		4	2	76
	ロ	老人短期入所施設等	24	9	2	1	2	38
	ハ	老人デイサービスセンター等	54	7	3	9	4	77
	ニ	幼稚園・特別支援学校	20	1				21
7		小中学校等各種学校	93	14	6	18	4	135
8		図書館・博物館・美術館	9		1	3		13
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	公衆浴場	5	1		1	1	8
10		車両の停車場等						
11		神社・寺院・教会	47		4	2		53
12	イ	工場・作業場	363	42	16	33	16	470
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	31	1	1		1	34
	ロ	飛行機等の格納庫						
14		倉庫	328	25	8	19	7	387
15		前各項に該当しない事業場	285	14	12	54	9	374
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	135	2	3	2	3	145
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	80	1	2		1	84
16の2		地下街						
16の3		準地下街						
17		重要文化財	3				1	4
18		アーケード（50m以上）	2					2
19		市町村長の指定する山林						
20		自治省令で定める舟車						
合 計		2,689	136	82	175	62	3,144	

消防用設備等点検結果報告書の届出が必要な対象物

(平成26年3月31日現在)

対象物の種類			対象物数		
			1,000㎡	1,000㎡	総数
			未満	以上	
1	イ	劇場・映画館等	4	1	5
	ロ	公会堂・集会場	74	8	82
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	2	15	17
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	3	1	4
3	イ	待合・料理店	7	3	10
	ロ	飲食店	88	1	89
4		百貨店・マーケット	129	41	170
5	イ	旅館・ホテルその他これらに類するもの	20	10	30
	ロ	寄宿舎・共同住宅	729	91	820
6	イ	病院・診療所	58	17	75
	ロ	老人短期入所施設等	16	24	40
	ハ	老人デイサービスセンター等	71	4	75
	ニ	幼稚園・特別支援学校	17	4	21
7		小中学校等各種学校	58	72	130
8		図書館・博物館・美術館	11	1	12
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			0
	ロ	公衆浴場	7	1	8
10		車両の停車場等			0
11		神社・寺院・教会	38	5	43
12	イ	工場・作業場	355	116	471
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			0
13	イ	自動車車庫・駐車場	28	6	34
	ロ	飛行機等の格納庫			0
14		倉庫	342	44	386
15		前各項に該当しない事業場	186	74	260
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	93	24	117
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	38	5	43
16の2		地下街			0
16の3		準地下街			0
17		重要文化財	4		4
18		アーケード(50m以上)	1	1	2
19		市町村長の指定する山林			
合計			2,379	569	2,948

消防同意件数(計画変更を含む)

(平成25年度中)

対象物の種類		新築	増築	改築	移転	用途変更	修繕	模様替	合計
1	イ 劇場・映画館等								0
	ロ 公会堂・集会場	6							6
2	イ キャバレー・ナイトクラブ等								
	ロ 遊技場・ダンスホール								
	ハ 性風俗関連特殊営業を含む店舗等								
	ニ カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等								
3	イ 待合・料理店								
	ロ 飲食店	2							2
4	百貨店・マーケット	15							15
5	イ 旅館・ホテルその他これらに類するもの								
	ロ 寄宿舎・共同住宅	18							18
6	イ 病院・診療所	1	2						3
	ロ 老人短期入所施設等	5				2			7
	ハ 老人デイサービスセンター等	4				1			5
	ニ 幼稚園・特別支援学校								
7	小中学校等各種学校	1							1
8	図書館・博物館・美術館	2				1			3
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ 公衆浴場								
10	車両の停車場等								
11	神社・寺院・教会								
12	イ 工場・作業場	13	5						18
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ 自動車車庫・駐車場	3							3
	ロ 飛行機等の格納庫								
14	倉庫	11	1						12
15	前各項に該当しない事業場	18			1				19
16	イ 1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	3							3
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	4							4
16の2	地下街								
16の3	準地下街								
17	重要文化財	1							1
18	アーケード(50m以上)								
19	市町村長の指定する山林								
合 計		107	8		1	4			120

中高層建築物

(平成26年3月31日現在)

対象物の種類		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階以上	計
1	イ 劇場・映画館等								
	ロ 公会堂・集会場		1						1
2	イ キャバレー・ナイトクラブ等								
	ロ 遊技場・ダンスホール			1					1
	ハ 性風俗関連特殊営業を含む店舗等								
	ニ カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等			1					1
3	イ 待合・料理店		1						1
	ロ 飲食店	1							1
4	百貨店・マーケット	3	1						4
5	イ 旅館・ホテルその他これらに類するもの		1					5	6
	ロ 寄宿舎・共同住宅	39	11	8	11	5	2	15	91
6	イ 病院・診療所	4	6						10
	ロ 老人短期入所施設等	1	3						4
	ハ 老人デイサービスセンター等	1							1
	ニ 幼稚園・特別支援学校								
7	小中学校等各種学校	8							8
8	図書館・博物館・美術館	1							1
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ 公衆浴場								
10	車両の停車場等								
11	神社・寺院・教会								
12	イ 工場・作業場								
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ 自動車車庫・駐車場								
	ロ 飛行機等の格納庫								
14	倉庫								
15	前各項に該当しない事業場	12	2	4					18
16	イ 1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	10	6	3	5	2		1	27
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	4			2			1	7
合 計		84	32	17	18	7	2	22	182

防火管理者選任を要する対象物

(平成26年3月31日現在)

対 象 物 の 種 類		甲種防火管理者を選任しなければならない対象物	乙種防火管理者を選任しなければならない対象物	計	
1	イ	劇場・映画館等	3	2	5
	ロ	公会堂・集会場	46	29	75
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	17		17
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	4		4
3	イ	待合・料理店	8	1	9
	ロ	飲食店	35	35	70
4		百貨店・マーケット	94	23	117
5	イ	旅館・ホテルその他これらに類するもの	19	1	20
	ロ	寄宿舎・共同住宅	62		62
6	イ	病院・診療所	32	3	35
	ロ	老人短期入所施設等	37	1	38
	ハ	老人デイサービスセンター等	39	7	46
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12	2	14
7		小中学校等各種学校	35	1	36
8		図書館・博物館・美術館	4	5	9
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			
	ロ	公衆浴場	4		4
10		車両の停車場等			
11		神社・寺院・教会	14	8	22
12	イ	工場・作業場	49	2	51
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場		1	1
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	3	1	4
15		前各項に該当しない事業場	42	9	51
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	53	7	60
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	8		8
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財		2	2
18		アーケード(50m以上)			0
19		市町村長の指定する山林			
合 計			620	140	760

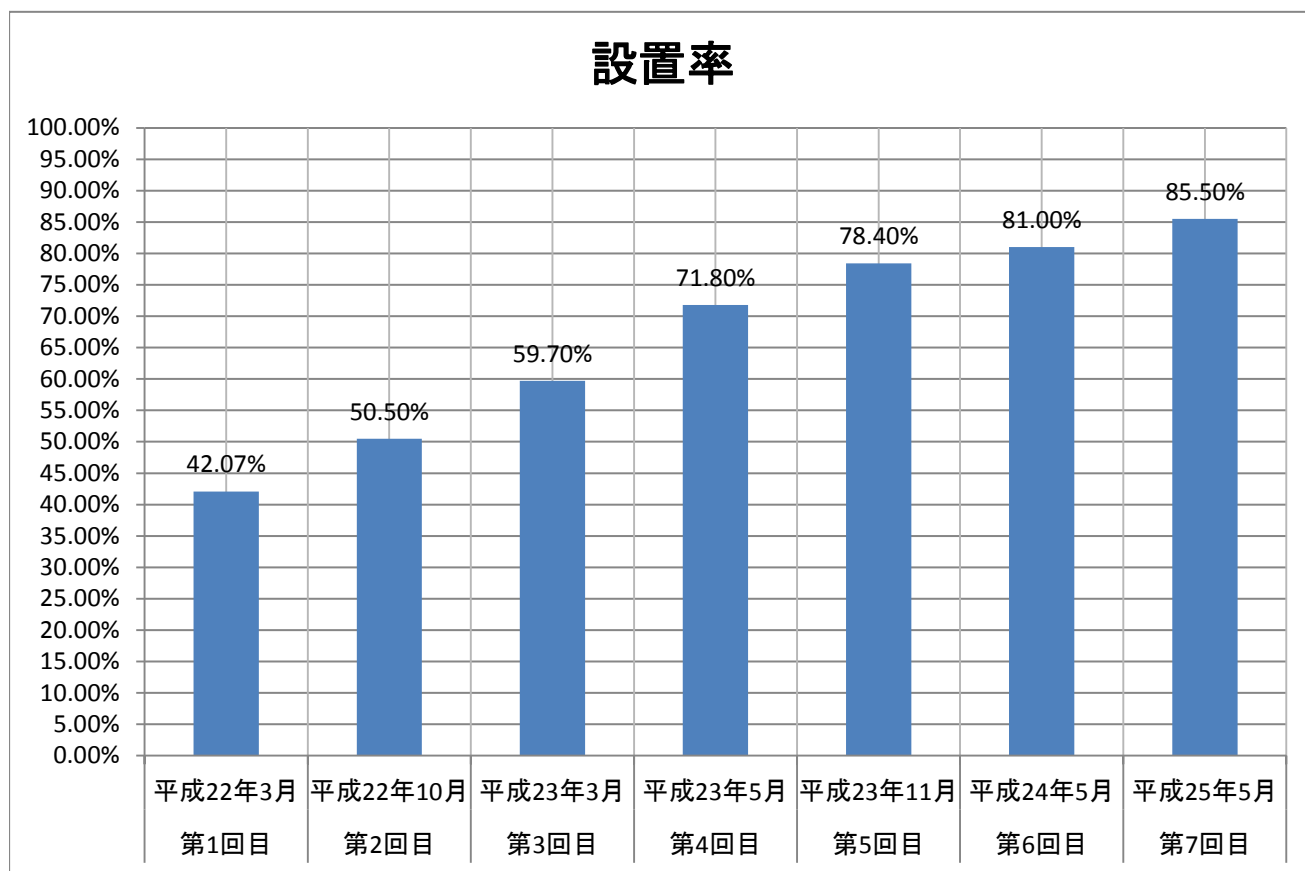
各種届出事務処理状況

(平成25年度中)

	種 別	届 出 数
火を使用する設備等の設置の届出	ボイラー等設置届出	8
	変電設備設置届出	22
	発電設備設置届出	28
	蓄電池設備設置届出	4
	ネオン管灯設備設置届出	
火災とまぎらわしい行為等の届出	火災とまぎらわしい煙の届出	97
	煙火打上届出	56
	催物開催届出	4
指定数量未満の危険物等の貯蔵取扱の届出	少量危険物貯蔵取扱の届出	26
	指定可燃物貯蔵取扱の届出	4
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱の届出	液化石油ガス	58
	毒物・劇物の届出	

	消 防 用 設 備 等 の 種 類	着工届	設置届	消防検査	
消防用設備等届出状況	警報設備	非常警報設備		17	15
		自動火災報知設備	58	96	91
		ガス漏れ警報設備			
		消防機関へ通報する火災報知設備	13	14	12
		漏電火災警報設備		1	1
	消火設備	屋内消火栓設備	6	9	9
		スプリンクラー設備	8	10	10
		水噴霧消火設備			
		泡消火設備			
		二酸化炭素消火設備			
		ハロゲン化物消火設備			
		粉末消火設備			
		屋外消火栓設備	2	2	2
		パッケージ型消火設備	2	2	2
		パッケージ型自動消火設備			
動力消防ポンプ設備					
避難設備	誘導灯		45	40	
	避難器具	5	7	7	
消火活動上必要な施設等	消防用水				
	排煙設備				
	連結散水設備				
	連結送水管		1	2	
	非常コンセント設備			1	
計		94	204	192	

住宅用火災警報器設置率の推移



※ 調査方法 大型商業施設において、アンケート調査です。(第2回目～第7回目)
但し、第1回目の調査方法は全戸調査です。

平成23年6月1日からすべての住宅に設置が義務付けられています。



**設置は
お済みですか？**

危 險 物

危険物製造所等の施設数

(平成26年3月31日現在)

区 分		地 域					計
		中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	
製 造 所	製造所	1					1
	製造所 小計	1					1
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	28	4		1		33
	屋外タンク貯蔵所	37	2		1	1	41
	屋内タンク貯蔵所	3					3
	地下タンク貯蔵所	27	6		3	3	39
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	16	2	2	1	1	22
	屋外貯蔵所	4					4
	貯蔵所 小計	115	14	2	6	5	142
取 扱 所	給油取扱所	44	6	5	4	3	62
	一般取扱所	39	3	1	1	1	45
	取扱所 小計	83	9	6	5	4	107
合 計		199	23	8	11	9	250

危険物事務処理状況 (許可又は検査の数)

(平成25年度中)

区		製造所		貯蔵所						取扱所			合計		
		製造所	小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所		一般取扱所	小計
許可	設置許可			2			1				3	1	1	4	
	変更許可	1	1				2			2	12	6	18	21	
	移動タンク	転出							2		2				2
		転入							1		1				1
完成	設置完成			2			2			4		2	2	6	
	変更完成	1	1				2			2	11	5	16	19	
	移動タンク							1		1				1	
廃止届					1		5		1	7	3	1	4	11	
仮使用		1	1				2			2	11	5	16	19	
保安監督者	選任届			4	1		2			7	5	1	6	13	
	解任届			2	1		2			5	5	1	6	11	

タンク検査申請							仮貯蔵・仮取扱
合計	水圧検査	小計	600ℓ以下	600ℓ～10kℓ	10kℓ～20kℓ	20kℓを超える	仮貯蔵
123	件数	111	22	79	6	4	
	水張検査	小計	10kℓ以下	10kℓ～1000kℓ	1000kℓ～2000kℓ	2000kℓを超える	仮取扱
	件数	12	12				

火薬類消費許可申請事務処理状況

火薬消費許可申請

(平成25年度中)

申請件数	総件数	譲受25Kg超	譲受25Kg以下	譲受火工品	煙火消費	譲渡	廃棄
	9	2			2	5	

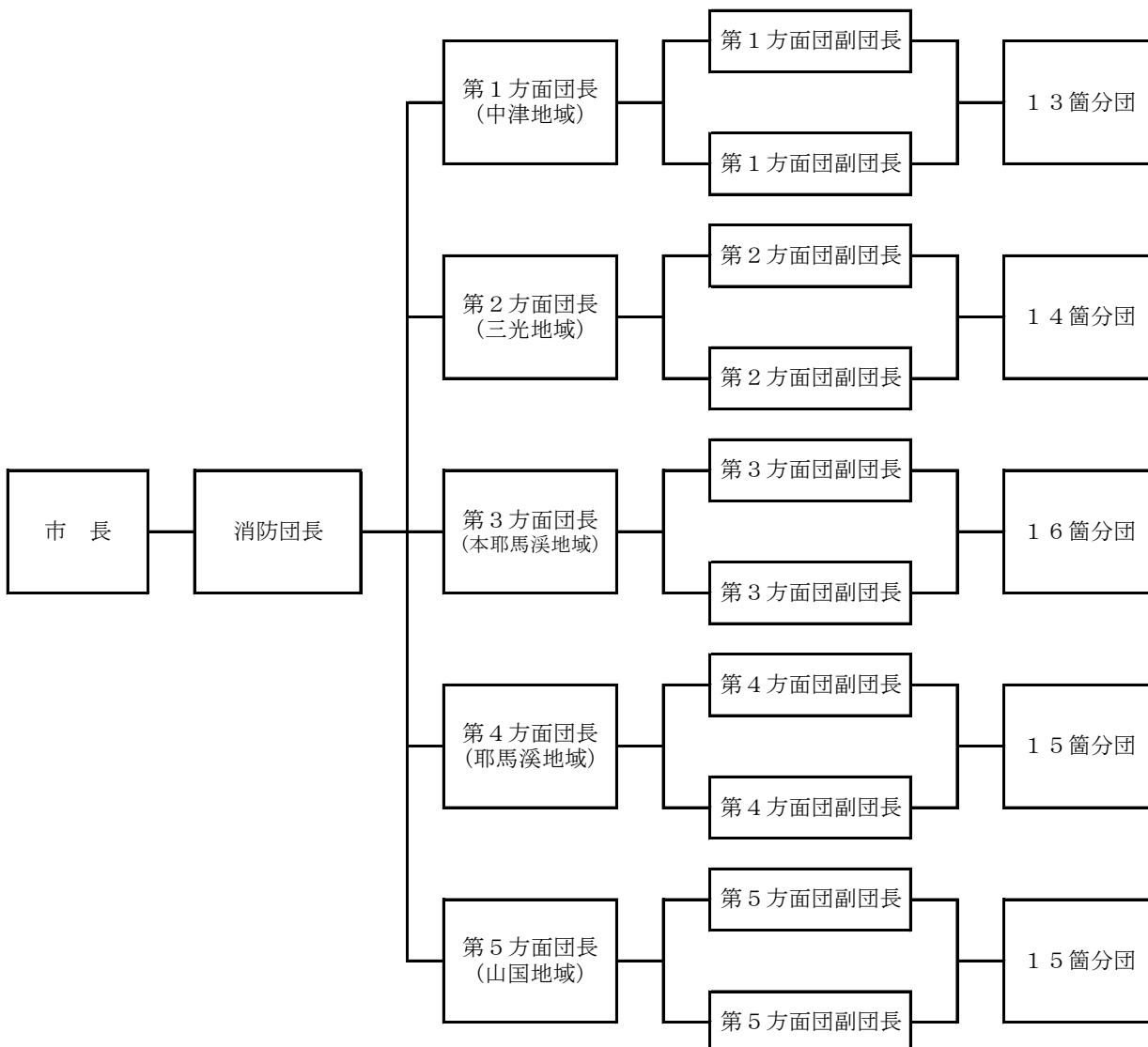
消 防 団

中津市消防団の組織

(平成26年4月1日現在)

中津市消防団は、平成17年3月の1市3町1村の合併により、方面団制を導入し現在5方面団、73分団、1,326人(条例定数1,481人)の団員で組織され、消防ポンプ自動車13台、小型動力ポンプ付積載車60台を配備し、地域の安心・安全を確保するため、地域の防災の要として活動しています。また、少子高齢化に加え、団員のサラリーマン化などにより不足する昼間の消防力を補うため、平成26年4月1日から機能別消防団員制度を導入し、現員のうち128人が機能別消防団員として活動しています。

中津市消防団組織図



方面団別消防団員実員状況

(平成26年4月1日現在)

	団長	方面団長	方面副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機能別団員	計
本部	1									1
第1方面団 (中津地域)		1	2	13	13	13	39	218	24	323
第2方面団 (三光地域)		1	3 (1)	19 (5)	14	14	42	197	26	316
第3方面団 (本耶馬溪地域)		1	2	21 (5)	16	16	48	85	30	219
第4方面団 (耶馬溪地域)		1	2	21 (6)	15	15	45	126	14	239
第5方面団 (山国地域)		1	2	19 (4)	15	15	45	97	34	228
計	1	5	11 (1)	93 (20)	73	73	219	723	128	1,326

※ カッコ内の数字は、専任指導員の数を示し、内数として記載。

方面団別及び年齢別消防団員数

(平成26年4月1日現在)

	20歳以下	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56歳以上	計
本部									1	1
第1方面団 (中津地域)	4	23	24	48	57	51	50	22	44	323
第2方面団 (三光地域)		5	20	38	39	36	51	59	68	316
第3方面団 (本耶馬溪地域)	2	6	13	16	24	21	40	44	53	219
第4方面団 (耶馬溪地域)		7	14	25	29	39	36	44	45	239
第5方面団 (山国地域)	1	6	19	23	30	21	32	36	60	228
計	7	47	90	150	179	168	209	205	271	1,326

消防車両の配置状況

(平成26年4月1日現在)

区分 方面団名	消防ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ積載車	計
第1方面団 (中津地域)	13		13
第2方面団 (三光地域)		14 (1)	14 (1)
第3方面団 (本耶馬溪地域)		16 (1)	16 (1)
第4方面団 (耶馬溪地域)		15	15
第5方面団 (山国地域)		15 (1)	15 (1)
計	13	60 (3)	73 (3)

※ カッコ内の数字は、各支所の職員で組織する消防班の車両台数を示し、消防団配置の数に含まない。



平成26年出初式

消防団の通信機器配備状況

	消防無線（デジタル）		IP無線機（双方向）		簡易トランシーバー
	携帯無線機	受令機	携帯型	車載型	
団本部	1		2	2	2
第1方面団 （中津地域）	3	13	4	13	
第2方面団 （三光地域）	3	14（1）	4	14（1）	15
第3方面団 （本耶馬溪地域）	3	16（1）	4	16（1）	15
第4方面団 （耶馬溪地域）	3	15	4	15	15
第5方面団 （山国地域）	3	15（1）	4	15（1）	15
計	16	73（3）	22	75（3）	62

※ カッコ内の数字は、各支所の職員で組織する消防班に配備の無線機の数を示し、消防団配備の数に含まない。

主な装備品配置状況

（平成26年4月1日現在）

	救命胴衣	チェーンソー	発電機	ジェットシューター
団本部	5			
第1方面団 （中津地域）	107		13	13
第2方面団 （三光地域）	121		14	69
第3方面団 （本耶馬溪地域）	134		16	60
第4方面団 （耶馬溪地域）	129	1	15	48
第5方面団 （山国地域）	127		15	53
計	623	1	73	243

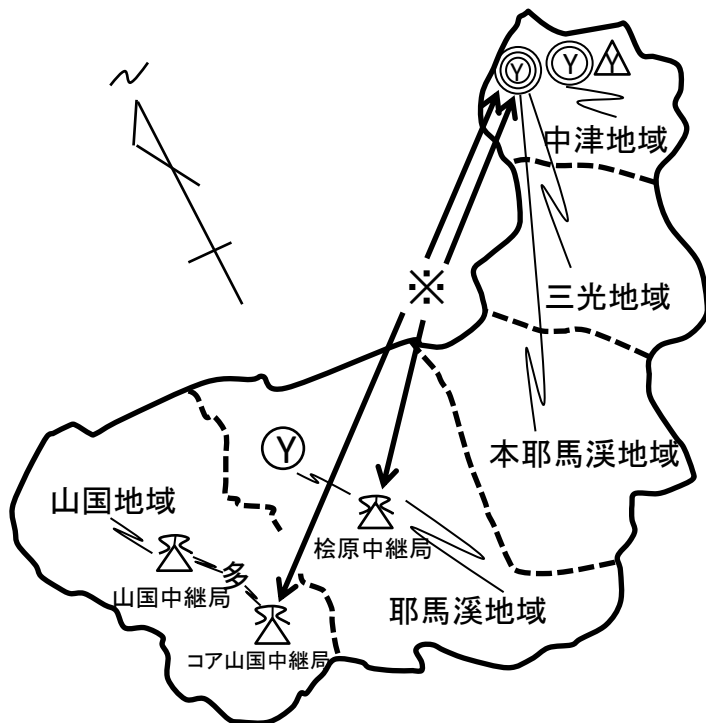


通信指令

通信指令室概要

消防通信では、119番受付から現場活動、災害事案の終了までを迅速かつ的確に行い、救急サービスの向上、災害による被害の軽減に大いに効果を発揮してきたところです。今後とも、複雑多様化する災害に対処して、地域住民が安心して暮らせる町づくりに貢献できる様、通信指令室の整備拡充に努めて参る所存です。

凡	例
	消 防 本 部
	消 防 署
	分 署
	消防団本部
	消 防 無 線
	無 線 中 継 局
	NTT回線
	管 界
	地 域 界



平成26年3月3日よりデジタル無線の運用開始

- ※ 中津消防（本署）－消防桜原（分署管内）間にインターフェースを導入（NTT回線DA128を利用）
- ※ 中津消防（本署）－消防コア山国（分署管内）間にインターフェースを導入（NTT回線DA128を利用）
- 多 消防コア山国（分署管内）－消防山国（分署管内）間は、多重無線装置を導入

《平成25年 119番通報受信件数》

(平成25年中)

種別 月	119番											119番以外						合計		
	火災	救急	警戒	問合	いたずら	無応答	試験	その他	携帯電話	IP電話	小計	小計	一般	警直	駆け込み	自己覚知	緊急通報システム		その他	小計
1月	4	226	1	59	2	3	24	48	78	45	123	367	79	14	2		16		111	478
2月	2	211	2	18		10	35	51	62	33	95	329	66	22	4	1	8		101	430
3月	20	211	4	59	2	10	37	47	87	38	125	390	70	14	1		4	1	90	480
4月	8	211		31	1	3	45	46	75	52	127	345	76	22		1	5	1	105	450
5月	26	199	2	37		8	41	35	65	41	106	348	66	12	1		5		84	432
6月	6	175		27	4	7	39	40	59	37	96	298	60	13		6	8		87	385
7月	3	238	1	33	4	14	40	63	84	45	129	396	64	16	3	1	7		91	487
8月	12	238	6	75	4	17	30	66	90	47	137	448	88	18	2	2	7		117	565
9月	11	207		39	1	21	42	47	75	32	107	368	68	15	2	2	7		94	462
10月	5	221		44		15	60	63	79	42	121	408	80	23	2		6		111	519
11月	2	239	2	33		6	50	29	77	49	126	361	54	17		1	10		82	443
12月	4	235		27		4	46	45	76	36	112	361	49	18	1	1	7		76	437
合計	103	2,611	18	482	18	118	489	580	907	497	1,404	4,419	820	204	18	15	90	2	1,149	5,568

平成25年緊急通報システムの受信状況等

このシステムは、自動的に消防署へ通報することができる機能を持った電話機を、利用者宅に設置したもので、管内に居住する65歳以上の一人暮らしの老人を中心に995箇所を設置し、高齢者の精神的不安の解消に努めています。

独居老人緊急通報システム受信内容

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災													
救急	16	8	3	5	6	7	7	7	7	6	10	8	90
試験	21	23	32		47	32	21	26	7	22	18	10	259
間違い	16	14	20	18	24	22	19	16	19	14	25	22	229
相談	1		1		2	3	1	1		2	7	3	21
電池切れ	31	15	33	21	27	12	18	23	14	18	22	98	332
停電	48	36	54	62	44	29	48	66	38	35	35	60	555
その他	32	21	31	57	41	35	38	56	25	29	29	45	439
合計	165	117	174	163	191	140	152	195	110	126	146	246	1,925

地域別受信件数

地域別 区分	中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	計
火災						
救急	69	2	7	7	5	90
試験	240		10	7	2	259
間違い	172	5	15	28	9	229
相談	19		1	1		21
電池切れ	197	4	85	33	13	332
停電	478	13	6	44	14	555
その他	368	9	5	47	10	439
合計	1,543	33	129	167	53	1,925

※ 電池切れ……………電話機のコセンソトのはずれ、台風や落雷等で停電したときに発信する

※ 間違い……………操作ミスによる発信又は子供のいたずら

火災・管理・調査

火災概要

平成 25 年中、市内では 64 件の火災が発生し、前年より 25 件増加しています。

これを火災種別ごとにみると、前年より建物火災が 11 件、車両火災が 6 件、その他火災が 13 件それぞれ増加し、林野火災が 5 件減少となっています。

火災損害状況

平成 25 年中の火災による総損害額は 71,182 千円で、昨年より 15,445 千円増となっており、建物火災が損害額の 86.1% を占め、車両火災が 12.7%、林野火災が 1.1%、その他火災が 0.1% となっている。

【前年との比較】

区分	出火件数						建物焼損床面積 (m^2)	林野焼損面積 (a)	損害額 (千円)
	計	建物	林野	車両	船舶	その他			
平成 25 年	64	31	1	6		26	1,322.1	14.0	71,182
平成 24 年	39	20	6			13	1,952.2	30.1	55,737
増減	25	11	▲5	6		13	▲630.1	▲16.1	15,445

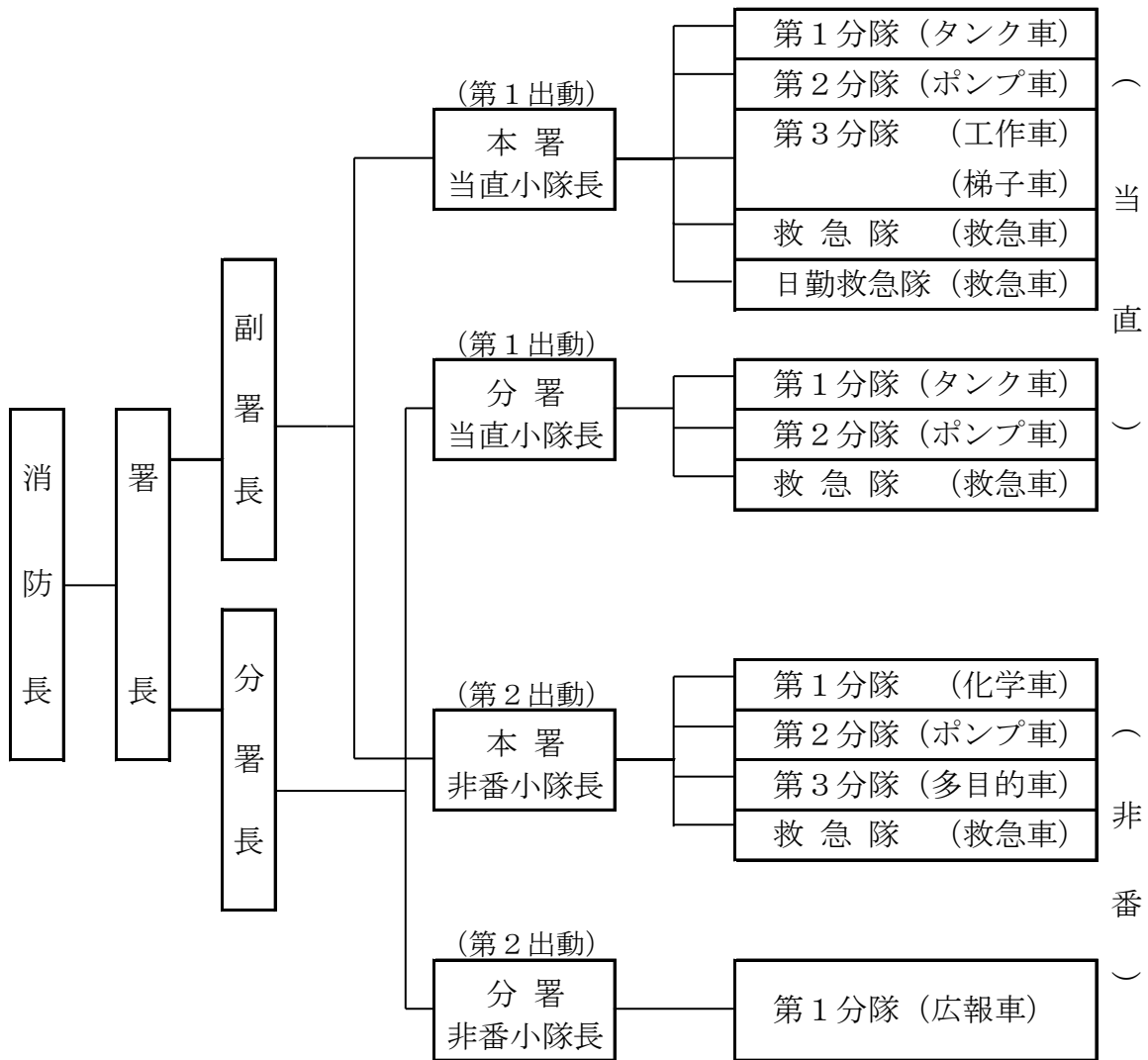
焼損面積

建物焼損床面積は 1,322.1 m^2 で、前年の 1,952.2 m^2 と比較して 630.1 m^2 (32.3%) 減少し、林野焼損面積は 14 a で前年の 30.1 a と比較して 16.1 a (53.5%) 減少しています。

出火原因状況

主な出火原因としては、「火入れ」が 10 件で 1 位、次いで「たばこ」7 件で 2 位、「たき火」及び「コンロ」が 6 件となっています。

出動区分表



年次別火災統計

区分 年	火災件数						焼損棟数				建物火災				林野火災		車両火災		船舶	その他	損害額		死者							
	建物	野	林	車	船	その他	計	全	半	部	ば	計	面	積	建物	収	容	物	計	損	害	額	(千円)	(千円)	(台)	損	害	額	(千円)	(人)
平成16年	26	6	7	7	46	11	4	13	11	39	4,490	172,056	61,388	233,444	1,843	2,711	9	2,798	480	239,433	3									
平成17年	28	6	6	1	20	61	14	13	12	39	2,125.4	57,360	31,048	88,408	18.9	147	6	810	30	89,397	2									
平成18年	32	2	4	16	54	10	2	6	17	35	1,302.1	51,541	39,520	91,061	3.4		7	1,277	349	92,687	1									
平成19年	31	4	4	14	53	11	2	12	15	40	2,350.9	101,344	75,873	177,217	35.8	157	6	224	106	177,704	1									
平成20年	21	3	5	22	51	5	2	6	13	26	804.2	45,496	7,792	53,288	30.0	16	5	330	165	53,799	2									
平成21年	26	4	3	12	45	8	2	2	20	32	1,368.0	75,362	10,184	85,546	1,016.0	4,296	4	157	2	90,001										
平成22年	18	8	1	15	42	9	3	10	7	29	1,105.9	32,635	11,269	43,904	48.5		2	65		43,969	2									
平成23年	24	14	2	12	53	9	9	7	11	36	2,268.1	319,321	50,460	370,016	666.2	2,094	2	142	16	372,268	1									
平成24年	20	6		13	39	10	4	8	10	32	1,952.2	37,914	17,591	55,505	30.1	76			156	55,737										
平成25年	31	1	6	26	64	16	4	7	16	43	1,356	46,676	14,654	61,330	14.0	773	7	9,020	59	71,182										

月別火災発生件数

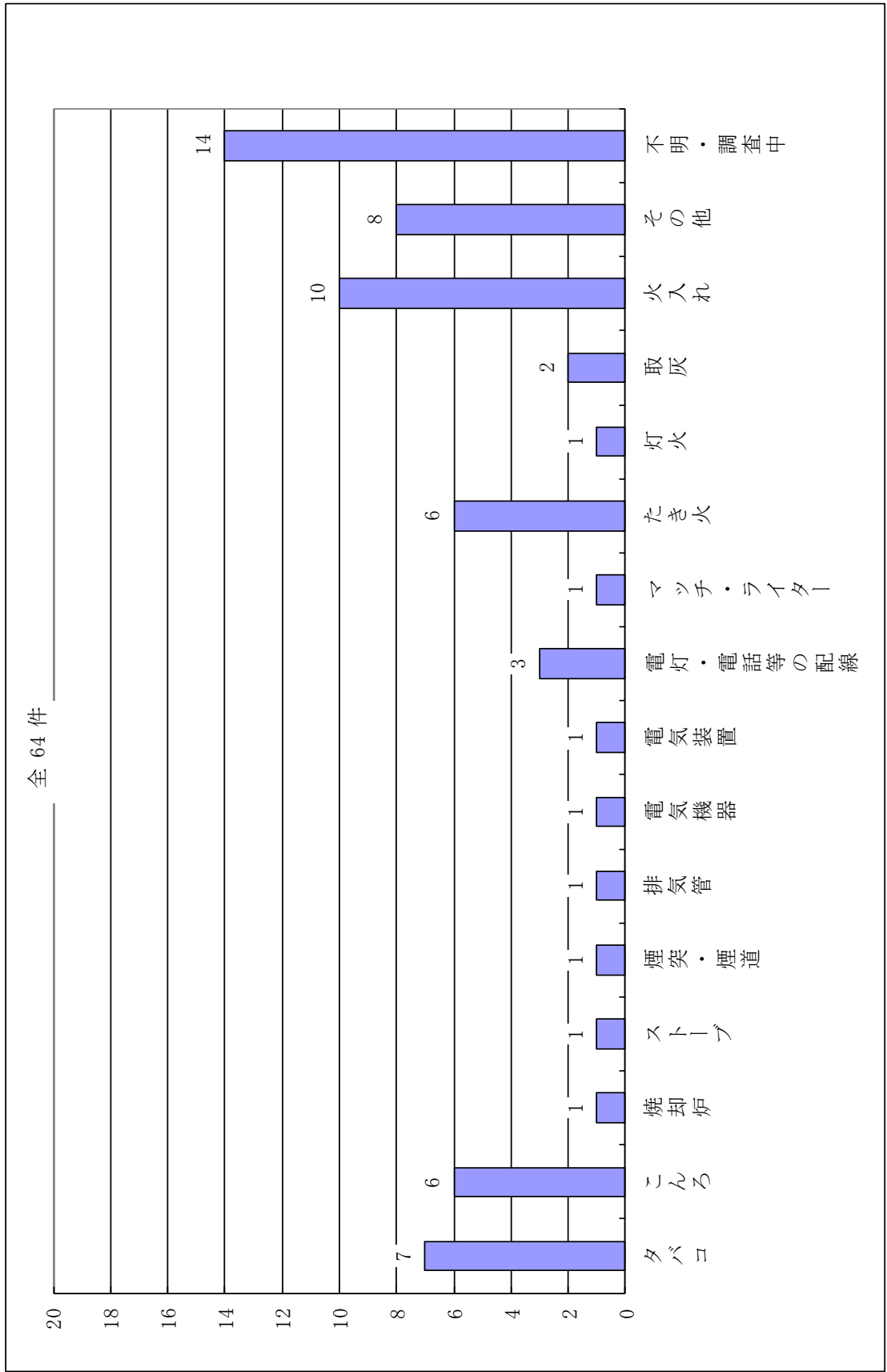
月	地 域					件数	焼損面積			損害額 (千円)
	中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域		建物(m ²)		林野 (a)	
							床面積	表面積		
1月	5			1		6	141.9	0.6		10,370
2月	1	1		1	1	4	73.4	28.0		8,847
3月	6	2	1			9	429.6	1.2		8,738
4月	4					4		0.6		92
5月	6		1	1	1	9	55.0	0.8		3,127
6月	4	2				6	237.6			1,571
7月				1		1				
8月	5	1		1		7	105.9			19,260
9月	5		1			6	117.4	1.4		17,145
10月	4		1			5	155.2			2,014
11月	2	1		2		5	4.8	0.8		11
12月			1		1	2	1.3	1.3		7
計	42	7	5	7	3	64	1,322.1	34.7		71,182

地域別の火災発生状況及び被災状況

区分 地域	火災種別			焼損棟数				焼損程度			罹災人員		死傷者					
	建物	林野	車両	爆発	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計	死	負傷者	
中津地域	20		4		18	42	10	2	4	9	25	4	3	4	11			4
三光地域	4				3	7	4	1	1	2	8			2	2			
本耶馬溪地域	2				3	5	1	1	1		3		1	1	2			
耶馬溪地域	3		2		2	7	1		1	1	3							
山国地域	2	1				3			1	1	2			2	2			1
計	31	1	6		26	64	16	4	8	13	41	4	4	9	17	4		5

区分 地域	建物			林野		車両		爆発		その他		合計損害額 (千円)
	面積 (㎡)	損害額(千円)		面積 (a)	損害額 (千円)	台数 (台)	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	損害額 (千円)		
	床面積	表面積	建物	収容物	計 (千円)							
中津地域	976	4	41,423	13,233	54,656	5	1,828			30		56,514
三光地域	187	28	3,683	789	4,472		952					5,424
本耶馬溪地域	142		1,390	412	1,802					2		1,804
耶馬溪地域	15	1	158	212	370	2	6,240			27		6,637
山国地域	2	1	22	8	30							803
計	1,322	34	46,676	14,654	61,330	7	9,020			59		71,182

出火原因



時間帯別出火件数

(平成25年中)

時間帯	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0-2	3			2							1		
2-4	1										1		
4-6	1		1										
6-8	5	1				1			1		1	1	
8-10	4	1	1			1					1		
10-12	7			2		1	1		1	1		1	
12-14	6	1	1	2								1	1
14-16	14	1		1	2	3	3	1		2		1	
16-18	10	1		1	1	1			4	1	1		
18-20	7			1	1	2	1			1			1
20-22	2	1	1										
22-24	4						1		1	1		1	
	64	6	4	9	4	9	6	1	7	6	5	5	2

曜日別出火件数

(平成25年中)

曜日	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日	8		1	4		1						1	1
月	12	1	2			2			1	2	2	1	1
火	8			2		1	1	1	1	1	1		
水	7					1	1		1	2	2		
木	9	2		1	1		1		2	1		1	
金	10	2		1	1	2	2		1			1	
土	10	1	1	1	2	2	1		1			1	
	64	6	4	9	4	9	6	1	7	6	5	5	2

消防水利の現有状況

(平成26年4月1日現在)

区分		地域	中津地域	三光地域	本耶馬溪 地域	耶馬溪 地域	山国地域	合計	
消 火 栓	公 設		966	19				985	
	私 設		13					13	
	計		979	19				998	
防 火 水 槽	公 設	20m ³ ~40m ³	1			16		17	
		40m ³ 以上	115	110	100	94	64	483	
		計	116	110	100	110	64	500	
	私 設	20m ³ ~40m ³							
		40m ³ 以上	4					4	
		計	4					4	
の そ 水 の 利 他	河 川 (池)	1		8	14		23		
	プ ー ル	18	5	3	4	2	32		



相互応援協定締結状況

(平成26年4月1日現在)

協定名称	締結市町村名等	締結の状況	締結年月日
大分県常備消防相互応援協定	大分県下14消防本部	火災・救急・救助・ その他災害について	昭和51年 3月31日 (平成24年3月30日改正)
大分県防災ヘリコプター応援協定	大分県・大分県下14消防本部	火災・救急・救助・ その他災害について	平成 9年 6月 1日
大分海上保安部と中津市消防本部との船舶火災に関する業務協定	大分海上保安部	船舶火災について	平成17年 3月 1日
大分県内におけるドクターヘリの運航に係る協定	大分県、福岡県	救急について	平成18年 4月 1日
福岡県田川地区消防組合、中津市消防相互応援協定	福岡県田川地区消防組合	火災・救急・救助・ その他災害について	平成19年 12月 1日
中津市、上毛町消防相互応援協定	上毛町 (福岡県)	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 6月10日
中津市、吉富町消防相互応援協定	吉富町 (福岡県)	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 7月 1日
京築広域市町村圏事務組合、中津市消防相互応援協定	京築広域市町村圏事務組合 (福岡県)	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 7月 1日

救 助 ・ 指 導

救助概要

平成25年中の救助出動件数は56件で、交通事故が23件と最も多く全体の約41%をしめており、ついでその他の事故15件（約26%）となっています。また救助人員については、33名です。

救助活動に従事する隊員には強靱な体力、不屈の精神力と合わせて災害現場において救助資機材を有効に活用するための高度な技術や知識が要求されます。そのため救助隊員は、日夜たゆまぬ努力と厳しい訓練をくり返し、住民の生命身体の安全確保に努めています。

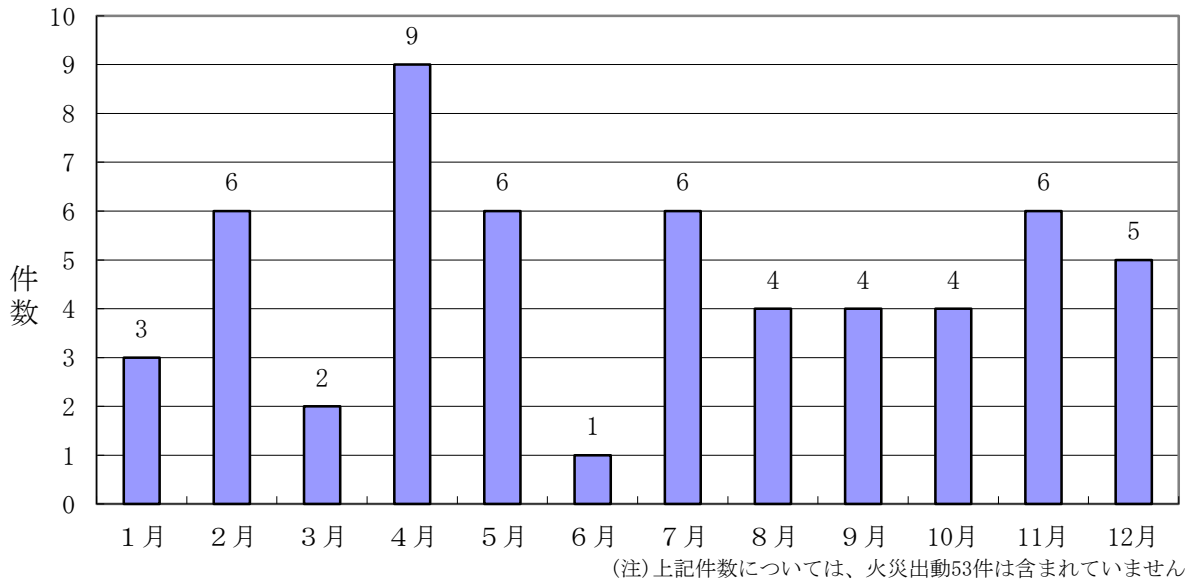
(平成25年中)

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
出動件数		23	6		1	11			15	56
活動件数		6	2		1	11			10	30
救助人員		7	3		1	12			10	33
出動人員		239	81		22	68			137	547
活動人員		58	21		12	68			80	239



月別救助出動件数

(平成25年中)



救助出動件数等

年間出動件数 56件 (火災出動件数を除く)

年間救助人員 33名

1ヶ月の平均出動件数 約 4.6件

発生場所別救助活動の状況

(平成25年中)

区分	発生場所		屋 外						地 下	そ の 他	合 計
	住 居	その他屋内	道 路		水 面		山 岳	その他の屋外			
			高速自動車国道	その他の道路	内水面	外水面					
出場件数	10	4		24	9	3		6		56	
活動件数	9	3		8	4	1		5		30	
救助人員	10	3		9	5	1		5		33	

消防機材等の現有状況

(平成26年4月1日現在)

区分	資機材名	本 署	分 署	計
消防資機材	空気呼吸器	29	6	35
	空気ポンベ	84	12	96
	空気充填用コンプレッサー	1		1
	ジェットシューター	4	24	28
	ホース (40mm)	38	19	57
	ホース (50mm)	115	76	191
	ホース (65mm)	156	55	211
	携帯警報器	22	6	28
	タイムキーパー (一式)	1		1
	Aクラス消火剤 (ℓ)		20	20
	エアーフォーム原液 (ℓ)	300	60	360
	エアーフォームノズル	6		6
	送排風機	2		2
救助資機材	ポートパワー		1	1
	ガス溶断機	1		1
	酸素溶断器	1		1
	マルチ測定器 (4種類)		1	1
	可燃性ガス探知器	1		1
	有毒ガス測定器	1		1
	酸素濃度測定器	1		1
	画像探索システム (プロアイ)	1		1
	空気式救助マット	1		1
	緩降器 (スローダン35m)	1		1
	携帯用コンクリート破壊器具	2		2
	削岩機	1		1
	ハンマードリル	1		1
	バッテリー式救助用破壊器具	1		1
	万能斧	11		11
	救助用支柱器具	1		1
	ロールグリス	1		1
	バスケット担架	2	1	3
	平担架	1		1
	バックボード	5	4	9
バーチカルストレッチャー		1	1	
エンジンカッター	3		3	

区分	資機材名	本 署	分 署	計
	チェーンソー	3	1	4
救助資機材	隊員降下用縛帯	13	6	19
	耐電衣	2		2
	耐電ズボン	2		2
	耐電手袋	15	4	19
	耐電長靴	2		2
	ラムシリンダー	1		1
	可搬式ウインチ	2	1	3
	油圧切断器	2	1	3
	油圧スプレッダー	3	1	4
	電動スプレッダー	1		1
	電動カッター	1		1
	重量物排除器具セット	1		1
	マット型空気ジャッキ	3	2	5
	救命索発射銃	3		3
潜水資機材	潜水器具一式	9		9
	救命浮環	10	1	11
	救命胴衣	55	25	80
	水中引揚検索棒	2		2
	水中検索磁石	1		1
	フローテンションカラー	1		1
	携帯水中ライト	9		9
	救命ボート	1		1
	船外機	1		1
	ウェットスーツ	21		21
	ドライスーツ	8		8
照明機具	投光器一式	8	2	10
	携帯用発電機	8	2	10
	携帯ライト	27	11	38
その他資機材	ジャッキ(10t)	1	3	4
	かぎ付はしご	2		2
	三連はしご	3	2	5
	二連はしご	4	1	5
	携帯マイク	8	3	11

特殊災害（B．C）活動用資器材

(平成26年4月1日現在)

区分	資器材名	本 署	分署	計
隊員保護用器具	化学防護服	3		3
	プレッシャーテストキット	1		1
	タイベック防護服（プロテックF型）	10		10
	（S）	（1）		
	（M）	（4）		
	（L）	（4）		
	（XL）	（1）		
	タイベック防護服（5428PEコート）	10		10
	（L）	（5）		
	（LL）	（5）		
	化学防護長靴	3		3
	耐薬品用長靴	10		10
	耐薬品用手袋	40		40
隊員用ろ過式呼吸用保護具	5		5	
吸収缶	20		20	
測定器	有毒ガス測定セット（北川式）P-50 UFO-II型	1		1
その他の測定器	ガンマ線及びエックス線用線量率計	4		4
	電子式個人放射線量計	15		15
	表面汚染検査計	2		2
	全面マスク	5		5
	エックス線、ガンマ線空間線量計	4		4

車両の配置状況

(平成26年4月1日現在)

種別 所属	水槽付きポンプ車	消防ポンプ車	化学工作車	救助工作車	梯子車	指揮車	高規格救急車	査察車	事務連絡車	資機材搬送車	人員搬送車	広報車	救急予備車	団本部指令車	多目的車	計
消防本部								1	1		1			1		4
消防署	1	2	1	1	1	1	2			1			1		1	12
耶馬溪分署	1	1					1					1	1			5
計	2	3	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	2	1	1	21



消防用車両一覽表

(平成26年4月1日現在)

所属	呼称	登録番号	車輛種別	車名	年式	型式	排気量	機装メーカー	ポンプ級別	呼出名称	配置年月	車両総重量(kg)
本部	査察車	大分88な6632	普通乗用車	トヨタ	H-9	E-AT211	1760cc			なかしよ131	H9.3	1445
	人員搬送車	大分800さ2917	普通ワゴン	マツダ	H-13	KH-SGLW	2490cc			なかしよ132	H13.7	2180
	団本部指令車	大分830て119	普通乗用車	トヨタ	H-17	CBA-ANM15G	1990cc			なかしよ133	H17.3	1945
	事務連絡車	大分500は7907	普通乗用車	日産	H-16	UA-WFY11	1490cc				H16.11	1445
本署	1号車	大分800は905	水槽付消防ポンプ自動車(水II型)	日野	H-25	SDG-GX7JGAA改	6400cc	小川ポンプ	A-2	なかしよ11	H25.3	11080
	2号車	大分800さ9050	消防ポンプ自動車(CD-I)	日野	H-21	BDG-XZU378M	4000cc	モリタ	A-2	なかしよ12	H21.9	5505
	3号車	大分800す384	消防ポンプ自動車(CD-I)	日野	H-24	SKG-XZU685M	4000cc	日本機械	A-2	なかしよ13	H24.2	5525
	化学車	大分800は797	化学消防ポンプ自動車(II型)	日野	H-23	BDG-GX7JGWA改	6400cc	日本機械	A-2	なかしよ14	H23.2	10895
	指揮車	大分800さ9391	普通バン	トヨタ	H-22	CBF-TRF226K	2690cc			なかしよ15	H22.3	3070
	はしご車	大分88や3312	梯子付消防ポンプ自動車(35m級)	日野	H-6	U-PR2FNAF改	17230cc	モリタ	A-2	なかしよ16	H6.2	19830
	資機材搬送車	大分800す1010	資機材搬送車(3t)	三菱	H-25	TKG-FGB70	2990cc			なかしよ17	H25.2	7565
	救助工作車	大分800は475	特殊車(II型)	日野	H-18	ADG-GX7JGWA	6400cc	モリタ		なかしよ18	H18.4	10470
	多目的車	大分800さ3336	普通バン	いすゞ	H-14	KG-JCWME25	2950cc			なかしよ19	H14.1	3310
	救急車1	大分800さ8212	高規格救急自動車	トヨタ	H-20	CBF-TRH226S	2690cc	トヨタ		なかきゆ11	H20.3	3215
分署	救急車2	大分800め119	高規格救急自動車	トヨタ	H-25	CBF-TRH226S	2690cc	トヨタ		なかきゆ12	H25.11	3225
	救急予備車	大分800さ5232	救急自動車(2B型)	トヨタ	H-16	TC-VCH22S	3370cc	トヨタ		なかきゆ13	H16.3	2725
	1号車	大分800は327	水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型)	日野	H-16	KK-GX1JGEA	7960cc	日本機械	A-2	なかしよ111	H16.2	10210
	2号車	大分800す1129	消防ポンプ自動車(CD-I)	日野	H-25	TKG-XZU685M	4000cc	小川ポンプ	A-2	なかしよ12	H25.3	5355
	広報車	大分88す1403	普通バン	日産	H-25	LDF-VW6E26	2480cc			なかしよ13	H25.9	3240
	救急車	大分800さ9293	高規格救急自動車	トヨタ	H-22	CBF-TRH226S	2690cc	トヨタ		なかきゆ14	H22.2	3195
	救急予備車	大分88す1694	高規格救急自動車	トヨタ	H-10	GB-VCH38S	3370cc	トヨタ		なかきゆ15	H10.2	3065

調査・指導等活動状況

(平成25年度中)

	本 署	分 署	計
防 火 訓 練	135	42	177
見 学	33		33
職 場 体 験	6		6
水利調査（防火水槽・消火栓）	145	205	350



救 急

救急概要

平成25年中における救急出動件数は3,757件で、前年より71件(約1.9%)増加している。これは1日当たり10.3件の割合で救急車が出動したことになる。また、搬送された傷病者は3,466人で前年より20人(0.6%)増加しており、過去最多の出動件数で、2時間20分に1人の割合で出動したことになります。

事故種別でみると、最も多いのが急病事故の2,093件(うち管外搬送115件)で全出場の56%を占め、次に転院搬送の730件(うち管外搬送269件)、急病と転院搬送を合わせると全体の75%を占める。また、年齢別では65歳以上の高齢者が60%と半数以上を占めている。

中津市消防本部では、医療機関との連携、一般住民に対する応急手当の普及を図り、一層の救命率の向上に努めています。

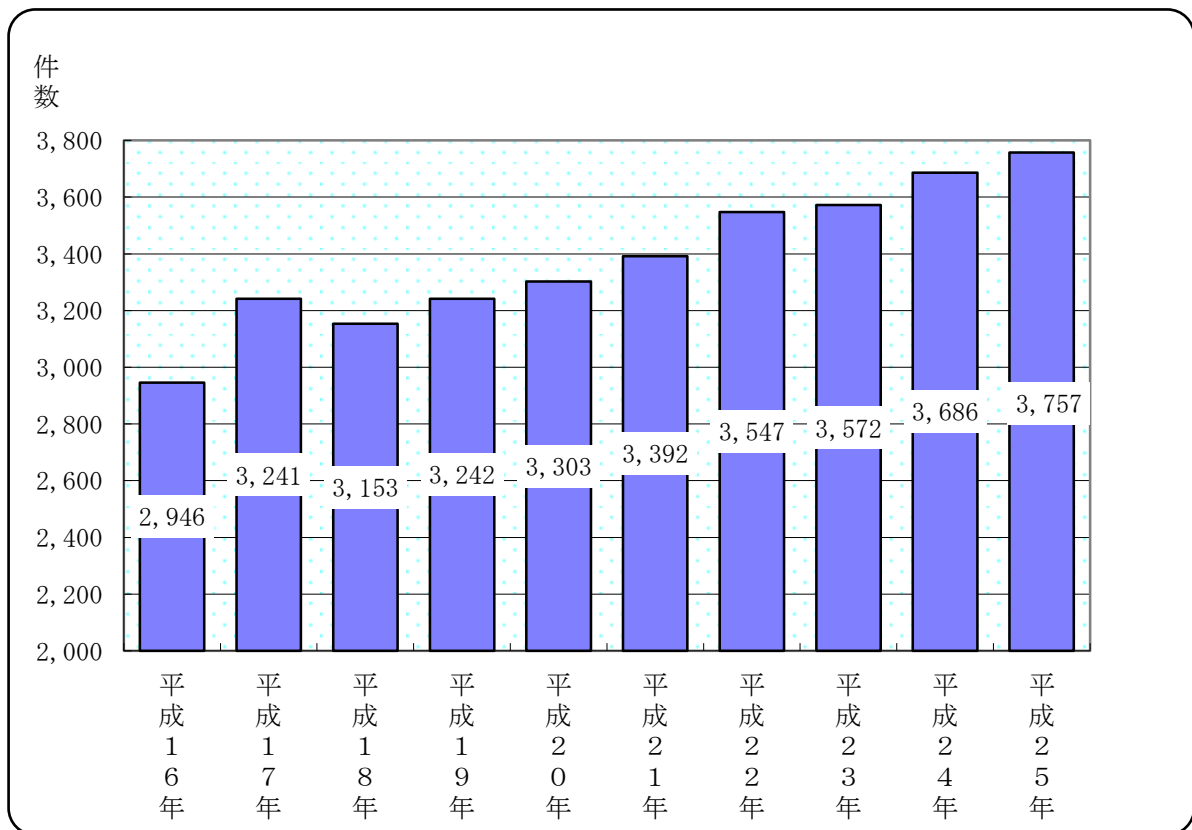
事故種別出動件数

		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
事故種別	火災	5	1	1	1	4
	自然災害					
	水難	2	1	3	3	5
	交通	311	331	325	353	331
	労働災害	16	16	15	28	31
	運動競技	9	20	14	21	20
	一般負傷	439	438	422	481	446
	加害	22	19	23	21	21
	自損行為	41	32	43	41	38
	急病	1,672	1,834	1,925	1,925	2,093
	その他	転院搬送	853	825	780	779
医師搬送		1	1		2	2
資器材搬送						
その他		21	29	21	29	36
不搬送		235	230	226	295	337
搬送人員		3,210	3,383	3,395	3,446	3,466
出動件数		3,392	3,547	3,572	3,686	3,757

各種救急講習会受講者数

	本署	分署	計
上級・普通救命講習	35回(516人)	1回(14人)	36回(530人)
救急法の講習	40回(1,324人)	16回(804人)	56回(2,128人)

過去10ヶ年救急出動件数の推移状況



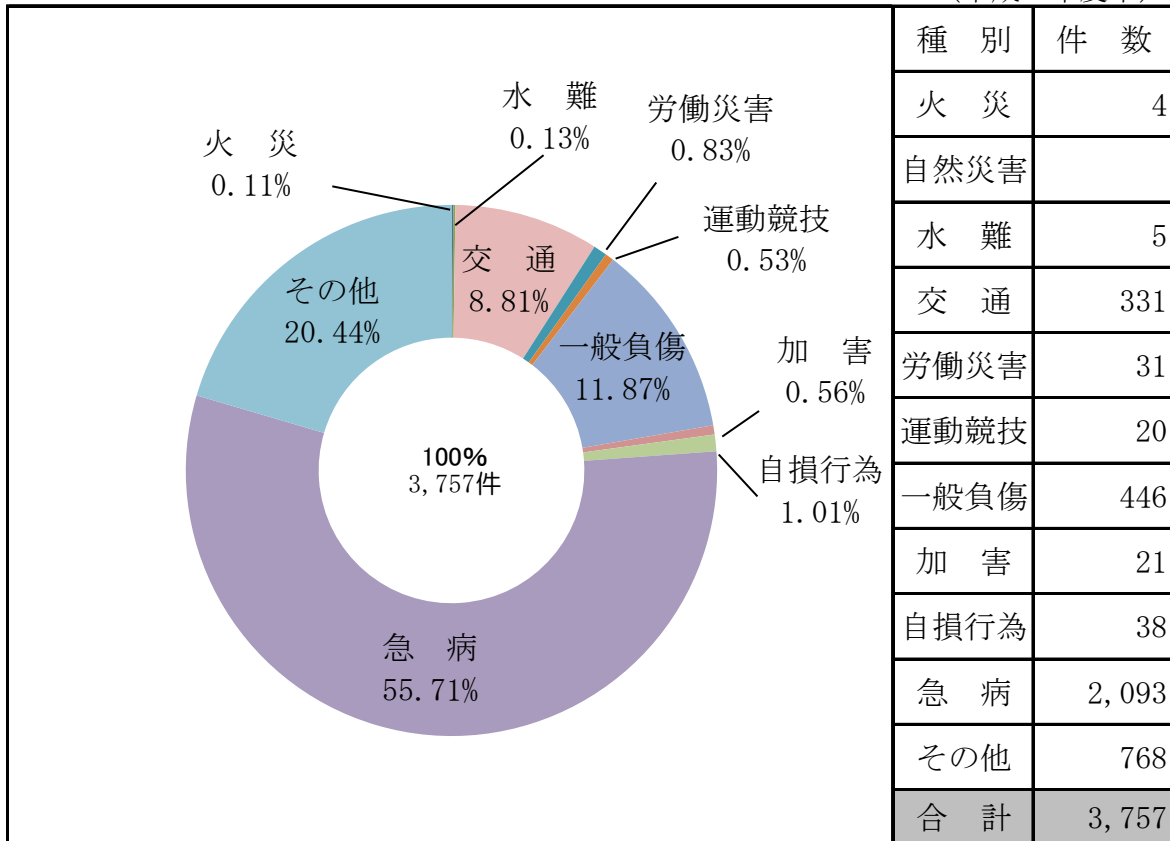
地域別救急出動件数

(平成25年中)

地域	事故種別											計
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
中津地域	3		3	258	21	14	347	21	33	1,635	671	3,006
三光地域				20	3	1	27		1	158	23	233
本耶馬溪地域				13	1	2	17		1	83	4	121
耶馬溪地域			1	24	2	2	33		3	126	41	232
山国地域	1		1	16	4	1	22			91	28	164
その他の地域											1	1
計	4		5	331	31	20	446	21	38	2,093	768	3,757

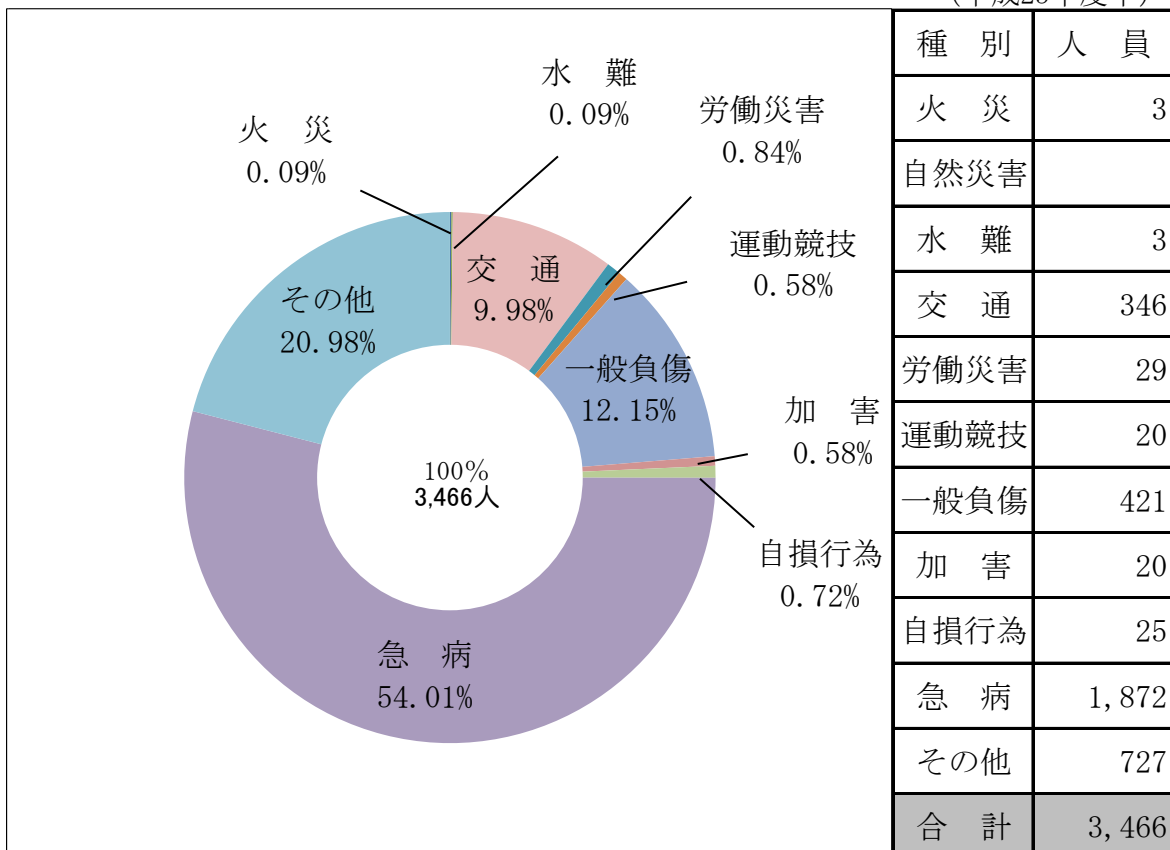
救急出動件数

(平成25年度中)



救急搬送人員

(平成25年度中)



月別・時間別出動件数状況

【月別】

(平成25年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1月			1	18	1		37	1	2	203	82	345
2月	1			25	2	1	36	3	3	175	63	309
3月	1			30	2		40		2	174	55	304
4月				43	1	2	35	4	4	145	80	314
5月			1	26	3	3	34		3	150	69	289
6月	1			19	2	2	36	1	6	137	55	259
7月				26	5	3	37	3	1	217	54	346
8月	1		2	23	5	4	42	2	5	189	75	348
9月				21	1	3	37	2	4	163	64	295
10月				38	2	2	38	2	2	178	68	330
11月			1	30	3		40	1	4	185	49	313
12月				32	4		34	2	2	177	54	305
合計	4		5	331	31	20	446	21	38	2,093	768	3,757

【時間別】

(平成25年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2				7			22	3	3	107	14	156
2～4							15	5	1	90	10	121
4～6				6			9			91	5	111
6～8			1	25	1		25		3	137	18	210
8～10				36	7	1	65		3	222	108	442
10～12	1		1	42	3	4	52		4	211	160	478
12～14			2	42	6	7	49	3	4	215	136	464
14～16	1			50	5	5	40		5	242	120	468
16～18	1			50	4	2	49		9	204	85	404
18～20				34	2	1	52	1	3	212	47	352
20～22				27	1		40	7	2	198	33	308
22～24	1		1	12	2		28	2	1	164	32	243
合計	4		5	331	31	20	446	21	38	2,093	768	3,757

年齢別搬送人員状況

(平成25年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児				1			2			6	12	21
乳幼児				13			18			63	23	117
少年				36	1	10	19	1		53	14	134
成人	1		1	195	27	9	99	17	20	574	172	1,115
老人	2		2	101	1	1	283	2	5	1,176	506	2,079
合計	3		3	346	29	20	421	20	25	1,872	727	3,466

傷病程度別搬送人員状況

(平成25年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡			2	6			1		7	35	3	54
重症				20	5	1	65		3	175	181	450
中等症	2		1	123	13	12	197	7	8	1,139	526	2,028
軽症	1			197	11	7	158	13	7	523	17	934
その他												
合計	3		3	346	29	20	421	20	25	1,872	727	3,466



曜日別救急出場件数状況

(平成25年中)

種別 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
火災	1				2		1	4
自然災害								
水難	1	2		1		1		5
交通事故	46	45	38	51	52	57	42	331
労働災害	7	6	4	5	6	2	1	31
運動競技	4		1	1	1	4	9	20
一般負傷	68	73	52	57	64	71	61	446
加害	1	3	2	1	1	4	9	21
自損行為	11	2	7	3	8	4	3	38
急病	311	272	288	300	305	303	314	2,093
転院	106	134	118	132	111	79	50	730
その他	5	4	7	5	6	6	5	38
計	561	541	517	556	556	531	495	3,757
	14.9%	14.4%	13.8%	14.8%	14.8%	14.1%	13.2%	100%

医療機関別搬送人員状況

(平成25年中)

区分	開設別	国立	公立	公的	私的病院	私的診療所	その他の場所 (ヘリポート等)	計(人)
	救急告示	管内		1,252		1,524		
	管外	40	16	78	120	1		255
その他	管内		1		105	140	1	247
	管外	8	13	1	138	9	19	188
合計		48	1,282	79	1,887	150	20	3,466
	管内		1,253		1,629	140	1	3,023
	管外	48	29	79	258	10	19	443

覚知別救急出場件数の状況

(平成25年中)

覚知方法 事故種別	119	加入電話	警察電話	駆け込み	自己覚知	消防無線	その他	計
火災	1	1	1		1			4
自然災害								
水難			5					5
交通	210	8	109	2	2			331
労働災害	31							31
運動競技	18	2						20
一般負傷	412	20	9	2	1		2	446
加害	14		7					21
自損行為	24	2	11			1		38
急病	1,872	135	35	14		2	35	2,093
その他	転院搬送	113	612		5			730
	医師搬送		2					2
	資機材搬送							
	その他	24	3	4			5	36
合計	2,719	785	181	18	9	3	42	3,757

※ 覚知のその他は、Fax、メール、緊急通報システム等

現場到着までの所要時間（覚知から現場到着までに要した時間区分）

（平成25年中）

時間 種別	3分未満	3～5分	5～9分	10～19分	20分以上	計	現場到着平均所要時間 (分)
急病	22	88	1,065	842	71	2,088	9.8
交通	3	21	176	115	15	330	9.7
一般負傷	2	30	225	175	12	444	9.4
その他	18	141	530	182	16	887	8.0
現着なし	8					8	
計	53	280	1,996	1,314	114	3,757	

※ 現着なし：出動するも現場到着に至らず、途中帰署した事案

医療機関収容までの所要時間

（平成25年中）

時間 種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計	収容平均所要時間 (分)
急病	4	155	787	828	93	5	1,872	34.02
交通		37	133	157	19		346	32.18
一般負傷	1	42	156	195	27		421	33.45
その他	4	225	237	206	152	3	827	36.20
計	9	459	1,313	1,386	291	8	3,466	



救急隊員の行った応急処置状況

(平成25年中)

事故種別 区	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	割合
搬送人員	1,857	335	411	809	3,412	
止血	5	1	8	3	17	0.5%
固定	38	113	95	42	288	8.4%
心電図	848	46	72	235	1,201	35.2%
心肺蘇生	51	6	2	7	66	1.9%
酸素吸入	315	17	24	211	567	16.6%
気道確保	50	3	4	7	64	1.9%
保温	15	3	4	6	28	0.8%
被覆		15	34	11	60	1.8%
血圧測定	1,753	313	388	755	3,209	94.1%
SPO2	1,773	318	388	774	3,253	95.3%
人工呼吸	34	4	3	3	44	1.3%
聴診器	189	45	24	34	292	8.6%
その他	1,408	98	166	334	2,006	58.8%

応急処置項目

※応急処置を行わなかった件数 54件

搬送人員 合計 3,466件

表紙の紹介

【初代中津城藩主 黒田官兵衛孝高】

黒田官兵衛は、豊臣秀吉の命で九州平定の先鋒として豊前に入国し、中津城を造営しました。官兵衛は領内の検知を行いますが、宇都宮氏を中心とした豊前領域の強力な地元豪族たちは黒田に反旗を翻しました。

黒田と豪族たちの間では激しい攻防が繰り広げられ、黒田に反したいくつもの城が落城しました。長岩城はその代表的な舞台として知られています。

官兵衛は、生涯50数回の合戦で一度も負けを知らなかった戦の天才でしたが、人心掌握にも長けていたようです。“人は殺すよりも使え”という官兵衛の言葉はよく知られており、槍や刀で人を殺すのではなく智力で敵を下し、家臣に対しては、教えを諭すようにして極力叱ることがなく、優秀な家臣を残すため自分の死に際しての殉死を禁止したことなどが伝えられています。

また、側室を持たず妻一人を愛した愛妻家だったことや、身分の低い子どもたちを呼び屋敷で存分に遊ばせる子ども好きだったことなどが伝えられており、総じて心優しい人物像が残されています。

表紙画：大河ドラマ「軍師官兵衛」推進協議会ポスター画

裏表紙：中津市「軍師官兵衛」推進事業公式キャラクター

『くろかんくん』

